

ホームページには、ブラウザの「戻る」を利用してください。バックナンバーの申し込みは事務局までご連絡願います。

生物化学的測定研究会年報 第14号 (2010) 目次

第14回 (2009年) 学術集会 (新大阪丸ビル新館 506)

講演要旨 <テーマ>食の安全

- 堀口 逸子 : 食の安全におけるリスクコミュニケーション
坂 真智子 : 食の安全: 残留農薬
石橋 弘志 : 線虫をモデルとした食品成分の安全性評価
宮坂 均 : イムノクロマトを用いた食品中のカドミニウムの簡易分析
臼杵 靖晃 : イムノアッセイを用いた内分泌攪乱物質の測定法の開発
穂山 浩 : 食の安全: 遺伝子組換え食品の検知法

第14回 (2009年) 学術シンポジウム (つくばインフォメーションセンター)

講演要旨 <シンポジウム>生物検定法の今後の展開

-ダイオキシン類やPCB他の生物検定法に関する最新技術・最新動向を切り口に-

- 鈴木 規之 : 生物検定法の意義と今後のあり方について
小島 弘幸 : 高感度レポーターアッセイ法を用いた環境化学物質の核内受容体活性の検出およびダイオキシン類生物検定法への適用
澤田石一之 : 生物検定法の信頼性向上のための手法 (機器分析市場で認められるために)
高木 陽子 : フロー型免疫センサーの今後の展開
塩崎 卓哉 : ダイオキシン類の生物検定法による簡易測定法について

論文・報告

ビスフェノールAに関する最近の話題

熊本県立大学環境共生学部 有菌 幸司

事務局からのお知らせ

2010年度行事予定/第15回学術集会・一般講演演題募集のお知らせ/他

生物化学的測定研究会 会則・役員

生物化学的測定研究会 会員名簿 2009年版